

呉医療センターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

① 該当者	2021年4月1日～2024年1月31日の期間に当院にて感染症と診断され、抗微生物薬治療を受けた患者さん			
② 研究課題名	抗菌薬適正使用支援チーム専従薬剤師による抗微生物薬副作用への介入効果とその解析			
③ 実施予定期間	2024年7月～2026年3月			
④ 実施機関	国立病院機構呉医療センター			
⑤ 研究代表者	氏名	首藤毅	所属	呉医療センター 感染対策部 部長
⑥ 当院の研究責任者	氏名	高田正弘	所属	呉医療センター 感染対策部 副感染対策室長
⑦ 使用する試料	収集する診療情報は下記の通りです。 年齢、性別、既往歴、入院の契機となった疾患名、感染臓器、使用抗菌薬、体温、採血結果、治療転機、開始日・治療終了日、術前療法、再発の有無・再発確認日・再発治療・最終生存確認日、副作用の被疑薬となった抗微生物薬、副作用、副作用の重篤度、副作用の発現時期（投与後の日数）、副作用の対応、副作用の転機、介入に至った端緒、診療録へのアレルギー登録の有無など。 ※上記診療情報は、研究終了まで厳重に保管され、その後適切な方法で破棄されます。 診療情報は当院の研究担当者において保管されます。 ※当院の研究者4名が収集した情報を取り扱います。			
⑧ 目的	超高齢化社会に伴う疾病構造の変化や医療技術の進歩により、医療は専門的・高度化・複雑化が進んでいます。これまで、抗微生物薬の副作用は病棟専任薬剤師を中心に、病棟業務の1つとして行われていましたが、2022年9月より抗菌薬適正使用支援チームの薬剤師を専従化し、感染症として入院した患者さんに対してより質の高い、安心して安全な医療の提供を実施してきました（高田ほか、日本環境感染症誌 2023; 38(6): 272-277）（高田ほか、日本環境感染症誌 2024; 39(5): in press）。そのAST介入事例のうち、「抗微生物薬による副作用」について集計し、その介入内容、端緒、転機を解析します。 AST : Antimicrobial Stewardship Team（適正抗菌薬使用支援チーム）			
⑨ 方法	①に記載している対象患者さんの、⑦に記載の診療情報をカルテより抽出し、データの解析を行います。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2024年7月4日		
	院長承認日	2024年7月4日		
⑪公表	個人情報保護のうえで、研究成果を学会や医学論文などに発表することがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は一切使用しません。			
⑬知的財産権	将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。			
⑭利益相反	本研究では、利害の衝突は一切生じません。			
⑮問い合わせ	連絡先	高田正弘	電話	0823-22-3111（代表）
	国立病院機構呉医療センター 感染対策部			

呉医療センター院長